

# 賃金（「別表a」「別表b」）に関する説明書き

令和2年3月21日

### 1 ) 基本給薪金(就業規則第25條)

ア 甲74賃金台帳を図表にしました。ただし、法定休憩時間に誤りがあった部分は修正しました。

甲 7 黄金台帳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
①	2. 5.00	1. 0.00	1. 0.00	1. 0.00	1. 0.00	1. 8.50	1. 9.00	1. 6.25
3. 0.00	2. 6.00	2. 0.00	2. 8.50	2. 1.50	2. 5.25	2. 8.50	2. 0.00	2. 6.25
4. 0.00	3. 2.50	3. 0.00	3. 0.00	3. 0.00	3. 5.25	3. 8.50	3. 0.00	3. 2.50
5. 6.00	4. 0.00	4. 4.25	0.00	4. 5.00	4. 6.25	4. 8.50	4. 6.25	4. 6.25
6. 6.00	5. 0.00	5. 2. 4. 0.00	5. 5.50	5. 6.25	4. 8.50	5. 6.25	5. 6.25	49.98
7. 0.00	19.25	0.00	5. 0.00	6. 5.75	37.00	6.00	6. 6.25	0.50
8. 0.00	17. 4. 0.00	6. 0.00	7. 5.75	8. 0.00	6. 6.25	7. 0.00	6. 6.25	1.25
17.00	9. 6.00	0.00	7. 0.00	7. 5.00	38.50	0.00	7. 8.50	1.50
9. 6.00	8. 0.00	8. 2.25	3. 8	8. 6.00	8. 0.00	8. 9.25	2.25	8. 6.25
10. 0.00	9. 5.75	9. 8.00	1.00	9. 8.50	9. 1.50	9. 5.25	9. 8.50	9. 6.25
11. 0.00	10. 4.25	10. 8.00	1.00	10. 8.50	10. 1.50	10. 5.25	10. 8.50	10. 6.25
12. 6.00	11. 4. 0.00	11. 15.25	0.00	11. 5.25	11. 6.25	11. 8.50	11. 0.00	11. 6.25
13. 6.00	12. 3.25	12. 6.00	12. 5.25	12. 6.25	12. 8.50	12. 2.25	12. 6.25	39.98
14. 0.00	25.95	0.00	13. 6.00	13. 6.25	37.70	6.00	13. 6.25	0.00
15. 6.00	13. 5.00	13. 6.00	14. 6.00	14. 6.25	14. 8.50	14. 6.25	14. 6.25	2.00
24.00	16. 0.00	0.00	14. 5.25	0.25	39.25	0.00	14. 8.50	1.50
16. 6.25	15. 0.00	15. 5.25	15. 6.25	15. 0.00	15. 8.50	15. 0.00	15. 6.25	15. 6.25
17. 0.50	16. 4.75	16. 7.25	0.25	16. 9.00	2.00	16. 0.00	16. 8.50	16. 0.00
18. 0.00	17. 0.00	17. 1.00	17. 0.00	17. 1.00	17. 0.00	17. 0.00	17. 1.00	17. 0.00
19. 6.00	18. 5.50	0.25	19. 2.75	0.00	18. 5.25	18. 0.00	18. 5.00	18. 6.25
20. 6.00	19. 5.50	0.00	19. 5.75	19. 5.25	19. 0.00	18. 8.50	19. 6.25	40.25
21. 0.00	23.95	0.00	19. 5.00	19. 6.50	14.75	0.00	19. 0.00	19. 6.25
22. 0.00	4. 0.00	4. 4.25	20. 6.50	20. 6.25	20. 0.00	20. 6.25	20. 6.25	20. 6.25
23. 0.00	21. 0.00	21. 5.00	21. 6.75	21. 0.00	21. 0.00	21. 0.00	21. 0.00	21. 0.00
24. 0.00	22. 0.00	22. 5.00	21. 22	22. 7.00	22. 0.00	22. 8.50	22. 0.00	22. 6.25
25. 0.00	23. 4.75	23. 7.50	0.50	23. 9.00	2.00	23. 0.00	23. 8.50	23. 0.00
26. 0.00	24. 7.75	0.75	24. 7.50	24. 8.00	24. 0.00	24. 8.50	24. 1.25	24. 6.25
27. 4.50	25. 5.25	0.00	25. 6.00	25. 6.25	25. 0.00	25. 8.50	25. 2.25	25. 6.25
28. 0.00	18.95	0.00	26. 8.00	1.00	27. 7.50	0.50	26. 0.00	26. 0.00
29. 0.00	1. 2.25	2. 2.25	28. 6.75	0.00	27. 21	0.00	27. 0.00	2.25
29. 0.00	0.00	28. 6.00	41.00	1.75	28. 8.00	1.00	28. 6.00	9.00
30. 6.00	29. 0.00	29. 5.25	0.00	29. 5.50	1.50	29. 0.00	29. 8.50	29. 6.25
31. 1.00	30. 0.00	30. 4.25	0.00	30. 4.50	1.50	30. 0.00	30. 8.50	30. 6.25
7.00	0.00	31. 4.25	0.00	31. 4.50	1.25	31. 0.00	44.00	4.00
39. 89.25 (実回数)	4.5	93.00 (実回数)	5.00	9.00	5.00	5.00	31. 8.50	4.00
5. 月	121.50 (実回数)	7. 月	97.50 (実回数)	8.5	31.25	23.75	9.5	152.25 (実回数)
8. 月	186.25 (実回数)	9. 月	101.65 (実回数)	1.00	40.25	4.25	1.00	179.00 (実回数)

イ しかしながら、原告は、令和元年11月5日付準備書面(1)・15頁において、原告の記録と勤務日数等に乖離があることを主張しており、被告が作成した書証には瑕疵がある旨主張しています。

したがいまして、つぎのとおり、甲74賃金台帳の改竄部分を修正したのがつぎの「甲74賃金台帳改竄修正後」です。

## ウ 補正後賃金台帳(別表2 R2/2/20)

それでもなお、令和元年(労)第137号の答弁書において「甲13の3記載のとおり説明した」と認めているから、「甲74賃金台帳改竄修正後」を甲13の3にあわせて上方修正・補正したものが、つぎの「補正後賃金台帳」です。

このことは、原告が令和2年1月7日付「訴状にかわる準備書面(5)」における主張と反しない。

	甲74改竄修正後賃金台帳			補正(甲13の3)	補正後賃金台帳
月	実働時間	甲1基本時給	税込賃金	税込賃金	税込賃金
3	89.25	1,000	89,250		89,250
4	83.00	1,000	83,000		83,000
5	134.00	1,200	160,800		160,800
6	170.75	1,200	204,900		204,900
7	147.50	1,200	177,000		177,000
8	186.25	1,200	223,500	235,920	235,920
9	165.75	1,200	198,900	195,780	195,780
10	197.75	1,200	237,300	240,720	240,720
11/1分	—		—	未計算	—
合計	1,174.25		1,374,650		1,387,370
*1200円の根拠：教室長の代わりができるようになったら、					
時給1300円くらいと関谷さん・染谷さんにいわれたからだと思います					
染矢さんからは、「大原さん、2～3回給料少くない？大丈夫？」っていわれていました					

2 ) 内訳①通勤手当(就業規則第30条)は、次のとおり算定しました。

出勤日数・訴状にかわる準備書面(5)・34頁	被告答弁書・別紙	甲9の1			内訳①			
就業規則(甲3)・30条	被告答弁書・	甲58・甲63の被	被告答弁書		通勤手当計	既払通勤手当計		
出勤日数	通勤手当	通勤手当(通常)	日曜特訓加算	支払うべき計	内既払通勤手当	既払通勤(日曜特訓)	既払計	⑤未払通勤手当
17	16,320	16,320		16,320	0		0	16,320
17	16,320	16,320		16,320	0		0	16,320
22	21,120	21,120		21,120	10,800		10,800	10,320
26	24,960	24,960		24,960	14,040		14,040	10,920
23	22,080	22,080		22,080	8,100		8,100	13,980
23	22,080	22,080		22,080	12,420		12,420	9,660
24	23,040	23,040	1,620	24,660	11,880	1,620	13,500	11,160
29	27,840	27,840	4,860	32,700	25,920		25,920	6,780
1	960	960		960	0		0	960
182	174,720	174,720	6,480	181,200	83,160	1,620	84,780	96,420
出勤日数×960円・内訳訴状にかわる準備書面(5)・41頁・下から1行目								

### 3 )別途手当(就業規則第25条・諸手当)について

ア 別表a(R2/2/20)

別途手当(基準賃金+就業規則第25条に基づく)													
A		B		A+B		甲6 3の2							
甲65の1 別途手当額		甲65の2 既払源泉徴収額		甲63の2 手取額		①手取額 差額		②既支給 べき別途手当 額					
①税込	②手取	②既払源 泉徴収額	③手取額	④手取額 差額	⑤既支給 べき別途手当 額	⑥手取額 差額	⑦手取額 差額	⑧手取額 差額	⑨既支給 べき別途手当 額				
合計/月	基準 87,075	89.79% 78,186	10.21% 8,889	89.79% 311,275	103.18% 389,461	3.18% 12,000	116.67% 377,461	100% 349,500.926	8.00% 27,960.074	10.00% 34,950.093	118% 412,411.093		
3	0	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0	0		
4	1,800		1,800	0	2,100.00	1,800	1,666.67	0	133.33	166.67	1,966.67		
5	45,145		45,145	0	53,669.17	45,145	41,800.93	33,344.07	4,180.09	49,325.09			
6	54,350		54,350	0	63,408.33	54,350	50,24.07	4,025.93	5,032.41	59,382.41			
7	27,550		27,550	0	32,141.67	27,550	25,509.26	2,040.74	2,550.93	30,100.93			
8	78,650		78,650	0	91,758.33	78,650	72,824.07	5,825.93	7,282.41	85,932.41			
9	38,554	34,618	3,936	53,380	38,554 38,554	87,998	12,000	88,664.33	75,998	70,368.52	5,629.48	7,036.85	83,034.85
10	6,187	5,556	631	0	6,187 42,334	5,556 42,334	0	109,629.33	93,968	87,007.41	6,960.59	8,700.74	102,668.74
合計	87,075	78,186	8,889	311,275	87,075 311,275 =	389,461	12,000 440,371.167	377,461	349,500.926	27,960.074	34,950.093	412,411.093	
	78,186					389,461		440,371.167 =	377,461	+ 27,960.074	+ 34,950.093		
						389,461 - 12,000 =			377,461				
ぐるぐる回す途中(別紙1参照)										おそらく			
修正	10 93,968	11 0			116.67% 440,371.167	108% 377,461.000	100% 349,500.926	8% 27,960.074	10% 34,950.093	118% 412,411.093	先生		
※支払い遅れ (故意かもしれない)					85.71% 481,146.275	108% 412,411.093.381,862.123	100% 30,548.970	8% 38,186.212	10% 450,597.305	118% 472,197.3	アットリソース		
					117% 525,696.856	108% 450,597.305.417,219.727	100% 33,377.578	8% 41,721.973	10% 492,319.278	118% 537,092.251	トライグループ		
? 甲6の2 甲19 甲6の2													
手取り額はほぼ一致するが、税額が合わない。差額を検討す ると…					①手取額 差額	②手取額 差額	③(①)/108	④(②)/108	⑤(③)(④)の10%				
					116.67% 14,000	108% 12,000	100% 11,111.111	8% 888.889	10% 1,111.111	118% 13,111.111			

上記算定結果から算出した別途手当(就業規則第25条・諸手当)は、つぎのとおりです。

基本給賃金	別途手当	社会保険料	割増賃金	通勤手当	総支給額
(40)	(12)	(14)	(19)	(36)	(30)
89,250.000	0.000	15,078.750	0.000	16,320	120,649.000
83,000.000	2,100.000	15,078.750	38.000	16,320	116,537.000
160,800.000	52,669.167	15,078.750	2,631.000	21,120	252,299.000
204,900.000	63,408.333	15,078.750	6,739.000	24,960	315,086.000
177,000.000	32,141.667	15,078.750	1,978.000	22,080	248,278.000
235,920.000	91,758.333	15,078.750	33,664.000	22,080	398,501.000
195,780.000	88,664.333	16,908.750	13,405.000	24,660	339,418.000
240,720.000	109,629.333	16,908.750	46,827.000	32,700	446,785.000
		0.000		960	960.000
1,387,370.000	440,371.167	124,290.000	105,282.000	181,200	2,238,513.000

イ 別表a(R2/2/20)で「差額」を検討すると記載した点について

甲6の2,甲19,甲63の2	①税込額	②手取額	③,(②/1.08)	④	⑤,(④-③)	⑥,(⑤の10%)
116.67%	108%	100%	8%	10%	118%	
14,000	12,000	11,111.111	888.889	1,111.111	13,111.111	

(ア) さらに、被告は令和2年2月21日付答弁書・15頁及び別紙、乙第4号証において、被告は原告に対して、9月に1日分の日曜特訓の別途手当として12,000円、「交通費1,620円は支払済みである。」(合計13,620円)と述べており、現時点できこれらを加算すると、別表aと食い違いが生じて混乱してしまうので、これらは平均賃金算定後に、日曜特訓の別途手当として加算することにします。

(イ) 上記の表のとおり、日曜特訓の別途手当は14,000円(税込)である。別表aにおいて算定した別途手当の金額に、原告が既に令和元年11月5日付準備書面(1)・15頁において、原告の記録と勤務日数等に乖離・瑕疵があるから、ここで9月に1日分、10月に3日分を加算します。

(ウ)したがいまして、平均賃金はつぎのとおりです。

⑧平均賃金
13,485.000
月額(30日分)
404,550.000
平均賃金算定基礎
398,501.083
353,418.083
488,785.083
1,240,704.250

4 ) その他

ア 内訳②(H30/11/1勤務分)は、平均賃金1日分である金13,485円になります。

イ 内訳⑥(賃金台帳で欠勤扱いされたが出勤した日)は、平均賃金の「5月は2日分、7月は8日分、9月は2日分及び10月は2日分」をそれぞれ加算します。

ウ 内訳⑤年次有給休暇分は、平均賃金10日分の金134,850円の請求をしています。

エ 内訳③不相当な源泉徴収額部分は、別表bの②既払源泉税 + ⑨H24.12.31迄適用分の旧源泉税額(10%) + ⑧別途手当分の消費税から④支払うべき源泉税額を差し引いた金額です。

オ 内訳④割増賃金は、起算日を3月2日とみなして、別表2「甲74賃金台帳改竄修正後」に計上されている割増賃金対象時間数にもとづき、別表bの右上において労働基準法第37条等に定められた方法により算定された額を記載しました。

なお、11月1日勤務分の法定休日の割増賃金については、11月1日を10月の第5週めの最終日として算定しています。

以上